

コンソーシアムで 地域の教育力向上を!

平成21年度 文部科学省委託事業

社会教育重点推進プログラム事業実践報告書



公民館等を中心とした関係機関・団体の
コンソーシアム形成による
優れた社会教育実践



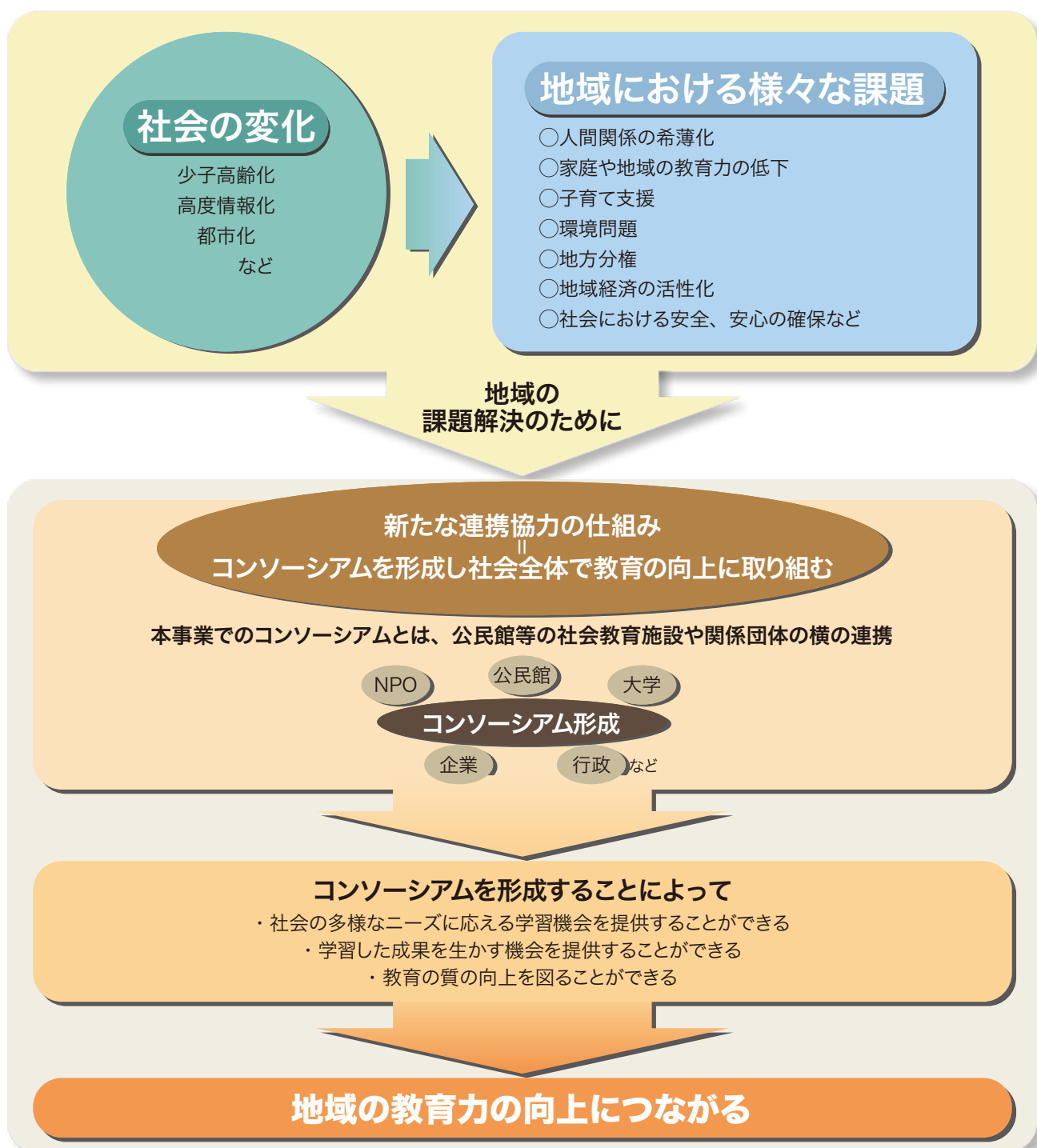
コンソーシアムで地域の教育力向上を！

コンソーシアムの必要性

近年、少子高齢化、高度情報化など、社会が急速な変化を遂げる中、地域における人間関係の希薄化や家庭や地域の教育力の低下などの様々な課題が生じています。

このような地域の課題を解決していくためには、地域の自発的な意思を尊重しながら、新たな連携協力の仕組み（コンソーシアム）を構築し、社会全体で教育の向上に取り組む必要があります。

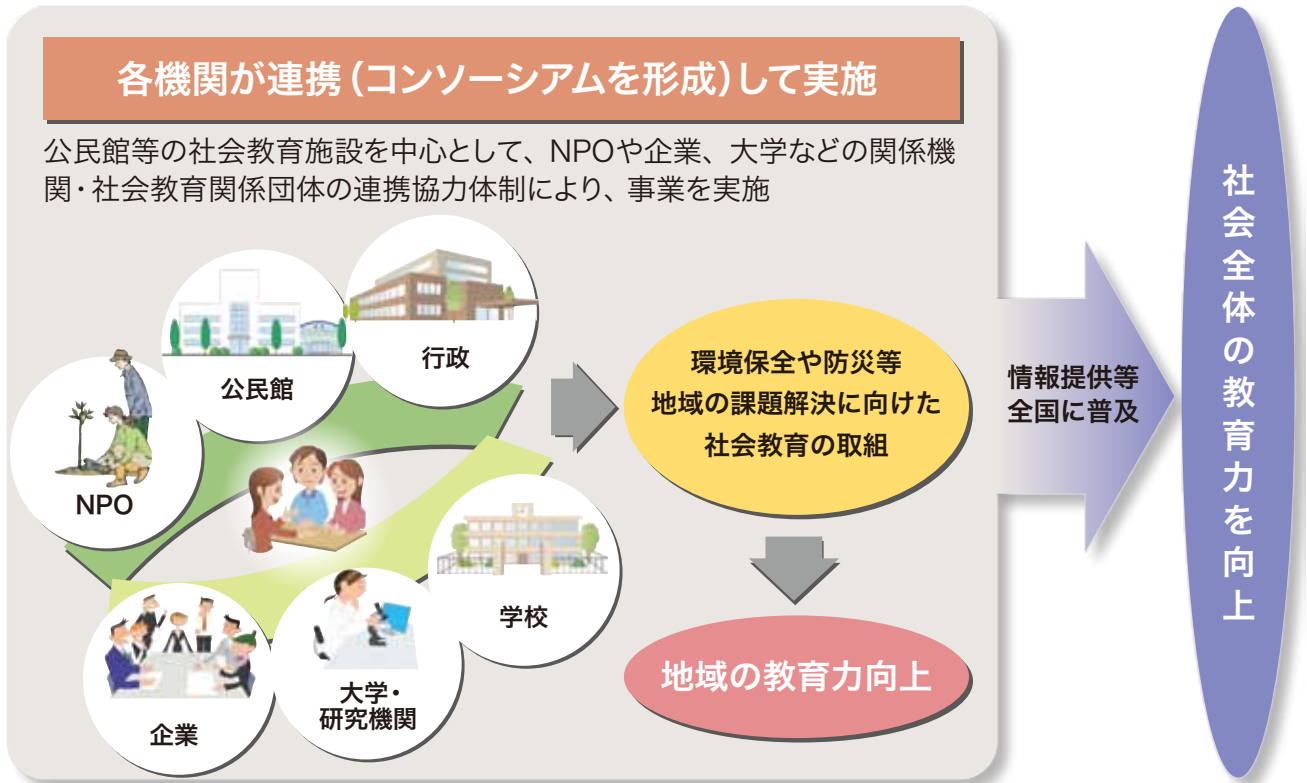
公民館等の社会教育施設や関係団体が横の連携を強化したコンソーシアムを形成することで、社会の多様なニーズに応える学習機会や学習の成果を生かす機会を提供することができるとともに、教育の質の向上を図ることができ、そのことが地域の教育力を向上していくことにつながっていきます。



社会教育重点推進プログラム事業の要旨と内容

文部科学省では、平成21年度委託事業「社会教育重点推進プログラム」を全国6団体において実施しました。

この社会教育重点推進プログラム事業は、公民館等を中心として関係機関・団体が連携協力(コンソーシアムを形成)することによって地域の課題に対応した学習機会を提供し、地域全体で行う社会教育に関する実証的研究を行うものです。そして、その成果を広く全国に発信することで、全国的な取組の普及促進を図ることで、地域の教育力の向上を目指します。



委託団体と実施内容

委託先	所在地	内容	コンソーシアム形成団体
21世紀型まちづくり コンソーシアム協議会	石川県羽咋市	地域の課題をテーマとした人材育成・人材活用	公民館連絡協議会・町会長連合会・青年会議所・NPO・大学・市教委
やまなし若者地域活性化 プロジェクト推進委員会	山梨県	若者が地域産業を活用した地域課題解決のための取組を実践・検証	公民館・博物館・大学・NPO・県教委・青年会議所・企業など
見附の宝もの伝承協議会	新潟県見附市	市民・地域住民の自主的な活動による学びの循環システムの確立	民族文化資料館・公民館・NPO・地域コミュニティ・市教委・企業
香川社会教育推進 コンソーシアム協議会	香川県高松市	住民自治確立のための組織育成および人材育成プログラムの策定	公民館・NPO・地域住民組織・職員組織など
栃木社会教育推進 コンソーシアム協議会	栃木県	住民の社会参加・地域活動指導者養成・関係機関のネットワーク形成	公民館・企業・大学・NPO・青少年教育施設・社会教育関係団体など
たおやかコンソーシアム	東京都	ハブ公民館から全国5地域とつなぎ、地域課題を地域を越えて学ぶ	公民館・企業・公益法人・市教委・生涯学習センターなど

1 事業実施の目的

少子高齢化、人口減少、多様化した生き方暮らし方など社会情勢の変化に対応したまちづくりとして、「市民の力を活かした協働のまちづくり」を進めているが、程遠い現状である。他方、「心の豊かさ」や「どう生きるのか」ということが非常に大きな時代のテーマになってきている。その二つの問題を「地域の課題」をテーマとした「人材育成・人財活用」の学習の場を通じて課題解決し、人が輝き、人が暮らしやすい地域社会の醸成を目指すのが目的である。

そのためには、「テーマ型・地縁型」活動団体、市民、行政など様々な組織や人々が連携・協力しあえる体制づくり及びまちづくりのための市民力の向上が必要である。それを、本事業の目標として実施した。

※コンソーシアムのねらい=多くの市民参加をねらった連携

2 コンソーシアム形成団体

区分	施設・団体名	本事業での役割
各種団体等	羽咋市公民館連絡協議会・羽咋市町会長連合会・(社)羽咋青年会議所	各種団体等は直接市民が関わる事業への参加協力や意識調査項目の設定など
大学	金沢大学	大学は、調査項目の作成や分析・報告など、意識調査に関わる。
学識経験者	人材育成分野(ひとづくり) NPO 分野(まちづくり)	学識経験者はそれぞれの専門分野から全事業に対して助言・指導など直接、間接的に関わる。
行政	羽咋市・羽咋市教育委員会	NPO・行政は事務局として全事業を遂行する
NPO	NPO法人 わくわくネット・はくい(中間支援団体)	

3 事業の実施状況

(1) コンソーシアム組織化の手順

- ①事業目的を明確にする
- ②事業遂行に必要な人材確保
- ③共通した課題を持つ団体等へプレゼン
- ④コンソーシアム協議会への参加の同意をとる

(2) コンソーシアムの運営・それぞれの団体や個人が持つ独自性に合わせて活用する。

(3) 事業の内容

コンソーシアムによる多彩な講師陣による人材育成のための志民塾を全9回にわたって実施すると同時に、市内11地区全公民館でのまちづくり講座を実施することにより市民のまちづくり参画意識を高める学習会を実施した。

※詳しい事業の内容は、次ページ事業実施フローチャート

4 事業の成果

目的達成のため、戦略的に質の高い事業を設定したが、参加した市民の理解度及び満足度(アンケート等)が高くでている。さらに、参加者自身が今後、市民活動等の参加意欲も示唆しており、今事業の目的の第1歩を達成したといえる。

これは、共通した課題を持つ団体及び大学とのコンソーシアムを組むことにより、多方面から参加呼びかけが出来たことや高レベルではあるが理解度が高くなるよう学識経験者ら講師陣の知恵を結集した学習提供の結果であろうと考察する。

さらに、市民性創造から進めた「まちづくり企画」(志民塾)の作成過程において市民が発したパワーを一般市民として参加した行政職員や市議会議員が市民と共に体感・体験できたことは、これからのまちづくりを進める上で貴重な経験として生かされると期待する。

5 課題と今後の展望

志民塾から生まれた企画の実現のための支援と、本事業に参加した一般市民だけでなく、住民意識調査結果から垣間見える多くの住民の市民(地域)活動に参加しようという意欲に対する支援が課題として残された。

今後の展望として、「テーマ型・地縁型」団体等に加えて企業・行政がコンソーシアムを形成し、協働して各々がもつ特性を活かしたまちづくりのための「仕組みづくり」が必要になってくる。

「暮らしやすい」「生きやすい」まち 一人ひとりの力が活かされるまち



「市民の力を活かしたまちづくり公開討論会」(仮称)開催

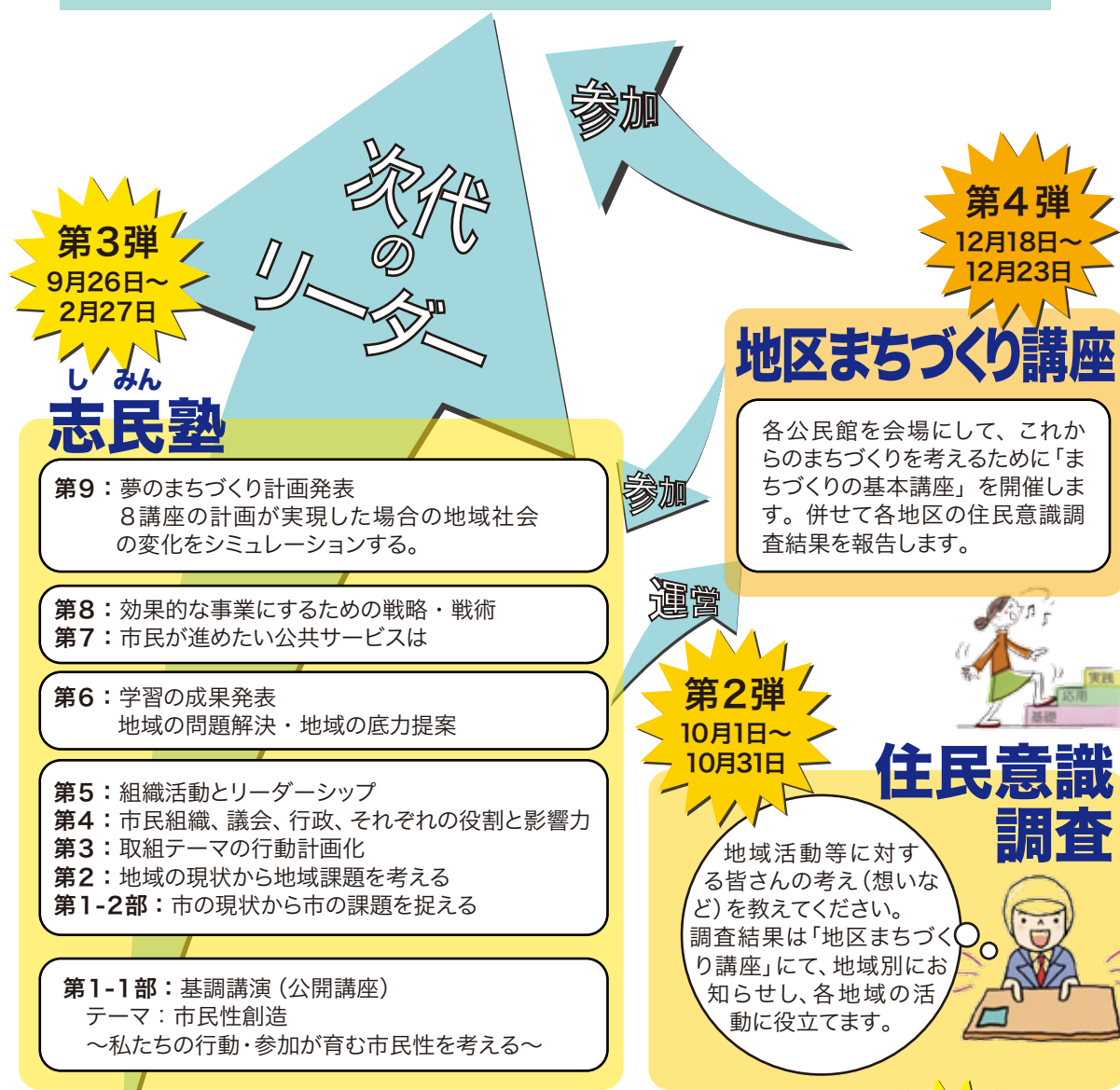
運営：志民塾生 参加者：市民、行政、その他

- ・市民の力を活かした市民活動（地域活動）など公共性の高い事業を提案
- ・市民活動等の紹介やこれからのまちづくりに対する意見交換
- ・まちづくりに関する情報提供など

～「テーマ型・地縁型」団体等に加えて企業・行政との連携によるまちづくり～

平成22年度以降

平成21年度



第3弾
9月26日～
2月27日

し 民 塾
志民塾

- 第9：夢のまちづくり計画発表
8講座の計画が実現した場合の地域社会の変化をシミュレーションする。
- 第8：効果的な事業にするための戦略・戦術
- 第7：市民が進めたい公共サービスは
- 第6：学習の成果発表
地域の問題解決・地域の底力提案
- 第5：組織活動とリーダーシップ
- 第4：市民組織、議会、行政、それぞれの役割と影響力
- 第3：取組テーマの行動計画化
- 第2：地域の現状から地域課題を考える
- 第1-2部：市の現状から市の課題を捉える
- 第1-1部：基調講演（公開講座）
テーマ：市民性創造
～私たちの行動・参加が育む市民性を考える～

第4弾
12月18日～
12月23日

地区まちづくり講座

各公民館を会場にして、これからのまちづくりを考えるために「まちづくりの基本講座」を開催します。併せて各地区の住民意識調査結果を報告します。

第2弾
10月1日～
10月31日

住民意識調査

地域活動等に対する皆さんの考え(想いなど)を教えてください。調査結果は「地区まちづくり講座」にて、地域別にお知らせし、各地域の活動に役立てます。

第1弾
8月19日

21世紀型まちづくりシンポジウム

協議会の連絡先

石川県羽咋市市民活動支援センター TEL0767-22-9979
(NPO法人 わくわくネット・はくいが管理・運営)